

新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒475・0966 愛知県半田市岩滑西町1・10・1 Tel. 0569・26・4888 <http://www.nankichi.gr.jp>



半 田市では、南吉の誕生日である七月三十日を「南吉さんの日」と名付けて、式典を行っています。今年も「新美南吉生誕祭」を七月二十七日（土）から三十日（火）にかけて開催し、様々な行事で百六回目の誕生日をお祝いしました。

生誕祭初日の「正八ちゃんの日」は、台風の影響により二年連続で中止となっていました。翌日から天気が回復して予定通りイベントを行えました。南吉作品の朗読やワークショップなどを通し、多



- ①半田中学校合唱部が「明日」などを披露
- ②南吉下宿先家主の大見夫妻がご挨拶
- ③誕生日寿司ケーキのロウソク吹き消し

くの方が南吉に親しんでいただけたと思います。

そして誕生日当日は、エントランスにて「南吉さんの日」式典を執り行いました。今年は南吉が安城に下宿して八十年です。そこで安城市教育長の杉山春記さんと、下宿先現当主の大見博昭さん・まゆみさんご夫妻にもご出席いただき、ご挨拶と共にまゆみさんに「百姓家」を朗読していただきました。「百姓家」は南吉が下宿先の人々を題材にして作った詩です。

また、例年式典ではバースデーケーキが登場しますが、今年は一風変わった寿司ケーキが披露されました。制作してくださったのは地元の実店舗さんで、「ごんぎつね」をイメージしてウナギの押し寿司やいなり寿司が使われました。そんな醸造の町半田らしい寿司ケーキを囲んでみんなでハッピーバースデーを歌うと、会場からは温かい拍手が贈られました。ほかに半田中学校合唱部の合唱や、参加者による献花などがあり、和やかに誕生日を祝うことができました。



六月二十一日（金）、記念館の近くに、新しくカフェや朝市などがある「花のき村」がオープンしました。

記念館の北には、「ごんぎつね」で村の小川として登場する矢勝川が流れていきます。「花のき村」はその矢勝川沿いに誕生しました。敷地内には「じば工房」と「ごんの足跡」（左下写真）が入る建物が立ち並んでいます。

「じば工房」とは、地域高齢者の生きがいづくりのための場所です。NPO法人「ごんのふるさとネットワーク」理事・村上真喜子さんが中心になって、地元の野菜や生産品を販売する朝市などが開かれています。

「ごんの足跡」は地元米のお寿司やお菓子を提供するカフェ&ショップです。同じく「ごんのふるさとネットワーク」理事・末松園子さん経営の株式会社「おいしい村」が運営していて、同社が育てたお米を使ったメニューのほかに、持ち帰りができる寿司弁当なども魅力です。



末松さんは、「権現山など南吉の作品に出てくる世界が覗ける風景になっているので、それを楽しんで欲しい」と話していました。「花のき村」と記念館の距離は歩いて五分ほどです。で、ご来館の際は一度足を運んでみてはいかがでしょうか。うか。時期が合えばポピーやマツバボタン、彼岸花といった季節の花々を楽しむこともできます。

「ごんの足跡」営業時間は午前十時～午後二時、定休日は日曜・祝日です（☎0800・2636・9233）。

「ごん / GON, THE LITTLE FOX」公開記念

朗読コンサート ～「月夜に捧げる愛の詩」～^{うた}

「ごん」の公開を記念した朗読コンサートです。ピアノとオーボエのアンサンブルを南吉作品の朗読と共に楽しみください。

日時 11月30日（土） 19時～21時（開場 18時30分）

場所 半田空の科学館プラネタリウムホール

対象 小学生以上（未就学児は入場できません）

定員 200名（全席自由席）

演目 「愛の挨拶」（エルガー）、「白鳥」（サンサーンス）、「月の光」（ドビュッシー）、「ガブリエルのオーボエ」「星に願いを」など星に関する曲メドレー ほか

出演 平山晶子（ピアノ・FM愛知「平山晶子のモーニングクラシック」元パーソナリティ）、山本直人（オーボエ・名古屋フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者）、南吉童話お話の会でんでんむし（朗読）

入場料 大人 1,000円 小・中学生 800円

チケット販売 9月21日（土）から南吉記念館、空の科学館、アイプラザ半田で販売

※事前に完売した場合、当日券はありません

問合せ 新美南吉記念館まで TEL 0569（26）4888



平山晶子



山本直人

コンサートでは「ごん」の上映（25分）も行います！ 人形を少しずつ動かしてコマ撮りするストップモーションアニメーションで、半田空の科学館（10月4日～）を皮切りに全国のプラネタリウムなどで上映されます。



(c) TAIYO KIKAKU co.,Ltd / EXPJ, Ltd

記念館からのお知らせ

AMI 南吉をうたう

南吉の詩や童謡を音楽ユニットAMIが奏でます。

日時 9月22日(日)

10時30分～11時30分

場所 記念館図書室

出演 AMI

サヤ佳のおはなし会

南吉の童話「草」や詩「百姓家」などを朗読します。

日時 9月23日(月・祝)

14時～14時45分

場所 記念館図書室

出演 語り人サヤ佳

「ごんぎつね」の誕生日

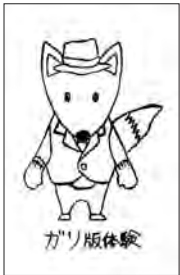
10月4日は「ごんぎつね」が書かれた日です。記念館

受付で合言葉を言うと、記念品が貰えます。合言葉は「ごん、お前だったのか」。

※ごん、お前だったのか。

ガリ版体験

南吉さんも使ったガリ版印刷を体験してみよう。



日時 10月12日(土)

① 9時30分～11時

② 13時30分～15時

場所 南吉記念館工作室

定員 各回15名

対象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

参加費 200円

申込み 9月15日(日) 9時30分

※当日は汚れてもいい服装でご参加ください

安城下宿八十周年特別展

「日本丁抹と南吉の暮らし」

農業で栄え「日本丁抹」と呼ばれた安城の地域性や戦時下という時代背景が、南吉の生活にどう関わり、作品にどんな影響を与えたのかを探ります。

会期 10月27日(日)まで

場所 記念館展示室

※高校生以上は観覧料(210円・消費税増税後は220円)が必要です。

【特別展開連行事】

安城 親子バス見学会

「ごんぎつね」だけじゃない! 南吉が暮らした安

城の下宿先や街を巡って、南吉についてもっと知ろう。読み聞かせや手品のお楽しみもあります。



▲ 南吉が下宿した部屋

日時 10月14日(月・祝)

9時～15時30分

対象 3年生以上の小学生とその保護者

定員 30名(申込順)

行程 花ノ木橋・花ノ木観音↓安城図書情報館↓南吉が歩いた商店街↓桜町小学校(安城高女跡)↓安城公園↓大見家(南吉の下宿先・昼食)↓明治川神社

ガイド 記念館学芸員

持ち物 水筒

弁当代 大人800円

子ども650円

※弁当持参も可能です

申込み 9月14日(土) 9時30分

※当日は汚れてもいい服装でご参加ください

※集合・解散場所は半田市役所職員駐車場です

ミュージアムトーク

学芸員による特別展解説

日時 9月16日(月・祝)、28日(土)、10月4日(金)、19日(土) 13時30分～14時

※特別展会場に集合

以上の事業への問合せは新美南吉記念館まで

TEL 0569(26) 4888

日誌抄・

六月(水無月)

▼1日 第31回新美南吉童話賞作品募集始まる(～9月15日) ▼21日 記念館北に「ごんの足跡」が開店 ▼21日、22日 「南吉さんの蛭まつり」。於記念館芝生広場・谷地。両日来場者数3600名 ▼同日 ナイトミュージアム。来館者数2072名 ▼23日 第167回新美南吉読書会。18名参加 ▼25日 岩滑小学校児童50名があん川堤に彼岸花の球根を植栽 ▼29日 折紙教室「七夕飾りをつくろう」。22名参加 ▼30日 童話創作講座第2回。12名参加

七月(文月)

▼13日 特別展「日本丁抹と南吉の暮らし」始まる(～10月27日) ▼同日 群馬県立土屋文明記念文学館で企画展「みんなの「ごんぎつね」」新美南吉からのメッセージ」始まる(～9月23日) ▼15日 ミュージアムトーク。9名参加 ▼20日 岩滑地区有志がマツバボタン畑で除草作業 ▼同日 ミュージアムトーク。16名参加 ▼27日 ミュージアムトーク。18名参加 ▼27日～30日 新美南吉生誕祭開催(記念館無料開放) ▼28日 「あつまろうみんなの南吉まつり」。384名参加 ▼同日 第168回新美南吉読書会。20名参加 ▼30日 「南吉さんの日」式典。184名参加 ▼同日 ミュージアムトーク。25名参加

令和元年十月一日の増税後は、新美南吉記念館の入館料を210円から220円に改訂いたします(団体料金の変更はありません)。





9月20日～10月4日

9月下旬から10月初旬にかけて、記念館近くを流れる矢勝川の堤は300万本の彼岸花で真っ赤に染まります。それに合わせて「ごんの秋まつり」を開催します。美しい彼岸花を始め、期間中に開催される様々なイベントをお楽しみください。彼岸花の開花情報は新美南吉顕彰会のHPでご覧いただけます。(http://nankichi.org/)

あつまろうみんなの南吉展
南吉文学碑の拓本を展示します。

展示 9月20日(金)～10月4日(金)

協力 半田市拓本研究會
場所 記念館会議室ほか

◎体験コーナー

拓本体験／9月21日(土)、22日(日) 10時～15時

※材料がなくなり次第終了

ガイドと朗読付き

彼岸花ウォーク

南吉のふるさと岩滑をガイドと歩きます。「南吉童話お話の会でんむし」による南吉童話の朗読も聴けます。



日にち 9月22日(日)

26日(木)

行程 名鉄半田口駅(10時5分集合・出発)↓南吉生家↓岩滑八幡社↓離れの家跡↓常福院↓光蓮寺↓岩滑小学校↓

矢勝川堤↓新美南吉記念館(12時頃解散予定／2km)

定員 各回15名(先着順)

参加費 無料

申込み 9月1日(日) 9時30分から電話または窓口へ

以上の情報についての問合せ・申込みは南吉記念館まで。
TEL 0569(26) 4888

南吉童話の街頭紙芝居やさん

自転車に載せた昔ながらの街頭紙芝居で南吉童話をお楽しみください。

日にち ごんの秋まつり期間中の土・日・祝日

時間 午前の部10時30分～午後の部13時30分

場所 南吉記念館芝生広場

お休み処周辺

上演 南吉童話お話の会でんむし

ごんの秋まつり

フォトコンテスト

秋まつり期間中に撮影したあなたのとっておきの一枚を募集します。

期間 9月20日(金)～10月11日(金)

※詳細は半田市観光協会HP
(https://www.handa-kankou.

com)をご覧ください。

彼岸花の結婚式と花嫁行列

岩滑八幡社で神前式を挙げた後、彼岸花が咲く矢勝川堤へ、皆に祝福されながら花嫁行列が行われます。



日にち 9月23日(月・祝)

時間 14時30分

※行列が出るのは15時30分頃

場所 岩滑八幡社・矢勝川

彼岸花のライトアップ

彼岸花のライトアップを行います。幻想的な風景をお楽しみください。

日にち 9月23日(月・祝)

時間 18時30分

場所 矢勝川堤

ごんの秋まつり期間中の記念館へのアクセス

秋まつり期間中、土・日・祝日は、南吉記念館の駐車場はバス・障がい者専用となるため使用できません(平日は可)。無料の周遊バスなどをご利用ください。※障がい者の方は手帳を確認します。

半田観光周遊バス(無料)

アイプラザ半田(臨時無料駐車場)を起点に、半田運河・蔵のまちバス停を経由して、南吉記念館と半田赤レンガ建物をつなぐ巡回バスです。

運行期間／ごんの秋まつり期間中の土・日・祝日

運行時間／アイプラザ半田(始発9時～終発16時)

新美南吉記念館(始発10時26分～終発17時30分)

※始発、終発時間は予定です

定額タクシー

名鉄知多半田駅と南吉記念館の区間を定額で利用可能。期間／9月20日～10月4日 料金／片道1000円

利用方法／名鉄知多半田駅ロータリーのタクシー乗り場から名鉄知多タクシー、安全タクシー、サンレータクシーにご乗車ください。